

第34期（令和6年度）収支予算書
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

（単位：千円）

科目	奨学・助成事業	法人会計 (管理費)	令和6年度 予算額	令和5年度 予算額	増減	備考
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
① 基本財産運用益	110,349	36,783	147,132	147,132	-	
基本財産受取配当金	110,349	36,783	147,132	147,132	-	
② 特定資産運用益	348,617	-	348,617	308,284	40,333	
特定資産受取利息	16,672	-	16,672	17,264	△ 592	
特定資産受取利息振替額	312,235	-	312,235	291,020	21,215	(注1)
特定資産受取配当金	19,710	-	19,710	-	19,710	(注2)
経常収益 計	458,966	36,783	495,749	455,416	40,333	
(2) 経常費用						
① 事業費	544,113	-	544,113	452,581	91,532	
奨学金支出	428,770	-	428,770	338,590	90,180	
外国人留学生	226,800	-	226,800	162,000	64,800	(注3)
外国人招致留学生	88,370	-	88,370	85,990	2,380	
日本人留学生	113,600	-	113,600	90,600	23,000	(注3)
助成金支出	46,416	-	46,416	45,837	579	
国際学術共同研究	15,000	-	15,000	14,960	40	
アジア地域重点学術研究	31,416	-	31,416	30,877	539	
経費支出	68,927	-	68,927	68,154	773	
役員報酬	6,972	-	6,972	6,972	-	
給与手当	24,851	-	24,851	24,151	700	
退職給付費用	690	-	690	929	△ 239	
役員退職慰労引当金繰入額	-	-	-	755	△ 755	
賞与引当金繰入額	1,882	-	1,882	1,820	62	
法定福利費	4,760	-	4,760	4,200	560	
福利厚生費	168	-	168	92	76	
賃借料	16,835	-	16,835	16,466	369	
水道光熱費	71	-	71	71	-	
会議費	5,000	-	5,000	5,000	-	
印刷図書費	2,000	-	2,000	2,000	-	
旅費交通費	3,000	-	3,000	3,000	-	
通信費	1,050	-	1,050	1,050	-	
消耗品費	461	-	461	461	-	
事務用品費	133	-	133	133	-	
支払手数料	700	-	700	700	-	
減価償却費	354	-	354	354	-	

科目			令和6年度 予算額	令和5年度 予算額	増減	備考
	奨学・助成事業	法人会計 (管理費)				
② 管理費	-	35,726	35,726	35,268	458	
役員報酬	-	6,369	6,369	5,918	451	
給与手当	-	10,649	10,649	10,349	300	
退職給付費用	-	296	296	398	△ 102	
役員退職慰労引当金繰入額	-	-	-	324	△ 324	
賞与引当金繰入額	-	807	807	780	27	
法定福利費	-	2,040	2,040	1,800	240	
福利厚生費	-	72	72	39	33	
交際費	-	50	50	1,000	△ 950	
賃借料	-	6,743	6,743	6,596	147	
水道光熱費	-	29	29	29	-	
会議費	-	376	376	1,000	△ 624	
旅費交通費	-	1,100	1,100	1,100	-	
通信費	-	450	450	450	-	
消耗品費	-	197	197	197	-	
事務用品費	-	67	67	67	-	
監査報酬	-	2,760	2,760	1,700	1,060	
支払手数料	-	2,700	2,700	2,500	200	
減価償却費	-	21	21	21	-	
雑費	-	1,000	1,000	1,000	-	
租税公課	-	-	-	-	-	
経常費用計	544,113	35,726	579,839	487,849	91,990	
当期経常増減額	△ 85,146	1,057	△ 84,090	△ 32,433	△ 51,657	
2. 経常外増減の部						
該当なし						
当期一般正味財産増減額	△ 85,146	1,057	△ 84,090	△ 32,433	△ 51,657	
一般正味財産期首残高			1,783,549	1,815,982	△ 32,433	
一般正味財産期末残高			1,699,460	1,783,549	△ 84,090	
II 指定正味財産増減の部						
基本財産運用益	110,349	36,783	147,132	147,132	-	
基本財産受取配当金	110,349	36,783	147,132	147,132	-	
特定資産運用益	312,235	-	312,235	291,020	21,215	
特定資産受取利息	312,235	-	312,235	291,020	21,215	
一般正味財産への振替額	△ 422,584	△ 36,783	△ 459,367	△ 438,152	△ 21,215	
基本財産受取配当金	△ 110,349	△ 36,783	△ 147,132	△ 147,132	-	
特定資産受取利息	△ 312,235	-	△ 312,235	△ 291,020	△ 21,215	
当期指定正味財産増減額	-	-	-	-	-	
指定正味財産期首残高			25,203,757	25,203,757	-	
指定正味財産期末残高			25,203,757	25,203,757	-	
III 正味財産期末残高			26,903,217	26,987,306	△ 84,090	

- (注) 1. 借入金限度額 0円
2. 債務負担額 0円

(注1) 当事業年度の6月に23億の国債が満期償還となったため、係る利金分特定資産受取利息振替額が約1,000万円減少するが、前事業年度より為替相場が円安になっていることから、外貨建債券に係る受取利息は約3,200万円増加することにより差引、収益が約2,100万円増加している。

(注2) 前事業年度において利率の低かった外貨普通預金を解約して外貨MMFを購入したが外貨MMFの利率は現在4.07%と高水準のため、当事業年度には約1,900万円の配当金収入を予想している。

(注3) 事業規模拡大のため、事業費を増額している。